

施策名：人に優しい安全で安心な交通社会の実現

事業名	担当課・室名	ページ
優しいマナーと思いやりの運転県おおいた推進事業	生活環境企画課	1 / 4
高齢者交通事故防止総合対策事業	交通企画課	1 / 4
交通事故総量抑止対策推進事業	交通企画課、交通指導課	1 / 4
認知症等早期発見支援事業	運転免許課	2 / 4
共生のまち整備事業	建設政策課	2 / 4
(単) 身近な道改善事業	道路保全課	2 / 4
交通安全事業	道路保全課	3 / 4
交通安全施設整備費	交通規制課	3 / 4
思いやりの横断歩道整備事業	交通規制課	3 / 4
交通事故遺児救済援護活動助成事業	生活環境企画課	4 / 4

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-5-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
1	<b>優しいマナーと思いやりの運転県おいた推進事業</b> ( R3 ~ ) 生活環境企画課 自動車や自転車による交通事故の発生を抑制するため、交通事故の状況や世代に応じた交通安全対策を実施する。	①高齢者交通安全対策の推進 ・俊敏性・反射能力を測定できる機材を活用した、いきいき交通安全体験講座の開催 ・チラシ、ポスターの作成配布等による運転免許証自主返納の啓発  ②自転車交通安全対策の推進 ・自転車条例制定の周知と自転車保険の加入促進 ・交通安全教材等を活用した、若年層向け交通安全教育の実施	① 2,421 ③	<b>高齢者の交通事故件数</b> 目標値 実績値 達成率	目標値		1,100	1,050	A	
			② 341 ④		達成率		982	—		
	主な活動指標と達成率			高齢者運転免許自主返納者数		目標値	5,700	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 運動能力や状況判断能力の低下を自覚できるクイックアームやクイックキャッチを活用した講座を実施するとともに、運転免許証自主返納やサポートカーの購入等を促進し、高齢者が関連する交通事故件数の削減を図った。また、中高生を対象とした交通安全教材を作成することで、若年層を中心とした交通安全教育を推進した。引き続き高齢者交通安全対策の充実を図るとともに、横断歩道でのマナーアップなど、交通事故の状況や世代に応じた対策を効果的に進めていく。		
				[人]		実績値	4,904			
				自転車保険加入率		目標値	60.0			
			[人]		実績値	74.6				
予算額 (うち翌年度繰越額) 3,880 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,262 (0)				達成率 86.0%		目標値	60.0			
				達成率 124.3%		実績値	74.6			

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
2	<b>高齢者交通事故防止総合対策事業</b> ( H28 ~ R3 ) 交通企画課 高齢者の交通事故防止を図るため、運転能力診断システム及び危険予測シミュレータを活用した安全教育を実施するとともに、ボランティア等と連携した交通安全指導等を推進する。	①高齢歩行者の交通事故防止対策 ・歩行者用危険予測シミュレータを活用した講習の実施(73回2,520名参加) ・反射材着装運動の推進(高齢者への反射キーホルダー配布及び着装の呼びかけ実施)  ②高齢運転者の交通事故防止対策 運転能力診断システムを活用した安全運転講習の実施(90回2,076名参加)	① 2,238 ③	<b>高齢者交通事故死傷者数</b> 目標値 実績値 達成率	目標値	970	952		A	
			② 1,201 ④		実績値	585	597			
	主な活動指標と達成率			歩行シミュレータによる講習回数		目標値	70	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルスの影響により、一部で講習中止が発生したものの、グラウンド・ゴルフ会場等の屋外で高齢者が集まる機会を捉える等、多くの参加が得られるよう取り組んだ。また、交通事故に複数関わったことのある高齢者に重点的にアプローチすることで、運転免許の自主返納を進めることができた。本事業は今年度で終了するが、引き続き高齢者に対する交通安全教育の実施と、より幅広い年齢層、特に高校生に対するアプローチを強化するため、令和4年度から「交通事故防止総合対策事業」を実施する。		
				[回]		実績値	73			
				運転能力診断システムによる講習回数		目標値	24			
			[回]		実績値	90				
予算額 (うち翌年度繰越額) 3,521 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,439 (0)				達成率 104.3%		目標値	24			
				達成率 375.0%		実績値	90			

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
3	<b>交通事故総量抑止対策推進事業</b> ( H28 ~ R3 ) 交通企画課、交通指導課 交通事故総量を抑止するため、交通安全広報・教育を通じて県民全体の交通安全意識の高揚を図る。	①速度違反取締装置の整備 ・可搬式速度違反自動取締装置の整備 ・速度違反取締用定置式・車載式レーダー・スピードメーターの整備(車載式3台・定置式1台)  ②大分県運転・横断マナー向上推進事業 ・テレビCMの作成 ・関係機関等との街頭啓発活動実施(県内35箇所月2回)  ③交通安全強化プロジェクト 交通安全教育車による教習・自転車シミュレーターによる安全教室等を委託により実施	① 19,170 ③ 8,536	<b>交通事故死傷者数</b> 目標値 実績値 達成率	目標値	4,538	4,438		A	
			② 9,523 ④		実績値	3,063	2,868			
	主な活動指標と達成率			可搬式速度違反取締り実施回数		目標値	50	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 多くの県民の目に留まるよう、駅や公共機関に設置されたデジタルサイネージで啓発動画を放送するなど、各種広報媒体を活用した運転マナー・横断マナー向上のための広報啓発活動を推進し、交通事故死傷者数を減少させた。本事業は今年度で終了するが、幅広い年齢層への交通安全教育の充実と、速度違反取締りの適切な実施に引き続き取り組むため、令和4年度から「交通事故防止総合対策事業」を実施する。		
				[回]		実績値	137			
				交通安全強化プロジェクト		目標値				
			[回]		実績値					
予算額 (うち翌年度繰越額) 37,510 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 37,229 (0)				達成率 274.0%		目標値				
				達成率 132.5%		実績値				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-5-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
4	<b>認知症等早期発見支援事業</b> (H28～) 運転免許課 認知症等の早期発見・早期対応により、高齢運転者による交通事故防止を図るため、免許更新の機会等に医療的側面から症状の把握、相談等の支援を行うために、医療的知識を有する保健師等を運転免許センターに配置する。	① 運転免許センターに保健師を配置(3名) ・高齢者や運転に影響を及ぼすおそれがある一定の病気等を有する運転者の免許更新や免許取得等について、相談対応や医療的見地からの指導等を実施。 ・病気の罹患や認知症が疑われる高齢運転者等への問診の実施や医療機関への受診勧奨、免許の自主返納等の勧奨 ・高齢者やその家族等からの免許更新等の相談対応 ・免許返納後の相談対応や地域包括支援センター等への引継ぎ等の支援	① 8,653 ③ ② ④	<b>受診勧奨、自主返納、支援センター等引継ぎ件数(※)</b> [件]	目標値	750	750	—	B		
			主な活動指標と達成率			実績値	634	707		—	
			質問票による個別聴取件数			達成率	84.5%	94.3%		—	
			一定の病気等に係る運転適性相談件数			目標値	800	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針			
予算額 (うち翌年度繰越額) 8,679 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 8,653 (0)	目標値 800 実績値 1,874 達成率 234.3% [件]	令和元年11月以降、運転者の家族等からも安全運転相談を受け付け始めたところ、多くの相談が寄せられるようになり、結果として診断書提出要請件数が増加し、危険運転者の早期発見等につながった。令和4年5月の改正道路交通法施行に伴う高齢運転者支援の改正を踏まえ、地域包括支援センター引継ぎ等の免許継続を断念した後の支援の強化を図る。 (※)令和4年度の成果指標及び目標値 自主返納件数、支援センター等引継ぎ件数、診断書提出件数 [900件]							
予算額 (うち翌年度繰越額) 8,679 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 8,653 (0)	目標値 800 実績値 1,069 達成率 133.6% [件]								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																					
5	<b>共生のまち整備事業</b> (H3～) 建設政策課 すべての県民が自立していきいきと生活し、人と人との交流が深まる共生型の地域社会を実現するため、社会活動への参加を妨げる行動面での障壁を取り除くことを目的に、県が設置または管理する既存の公共施設のバリアフリー化を推進する。	① 歩道等改良 段差解消、歩道面改修、側溝蓋設置、障害物撤去・移設等 ② 県有施設改修 スロープ化、多機能トイレ、手すり設置等 ③ 交通環境整備 視覚障がい者用音響装置、経過時間表示装置 共生のまち整備事業による歩道の整備延長 (単位: km)	高齢者、障がい者等の社会活動参加を妨げる障壁除去が推進され、共生社会への一助となった。 今後も、県が設置または管理する公共施設のバリアフリー化およびユニバーサルデザイン化を推進する。																					
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標の達成度</th> <th>事業開始年度 (平成3年度)</th> <th>現況値 (令和2年度)</th> <th>予算年度 (令和3年度)</th> <th>事業最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画 a</td> <td>249.5</td> <td>249.5</td> <td>249.5</td> <td>249.5</td> </tr> <tr> <td>実績 b</td> <td>0.0</td> <td>224.0</td> <td>226.0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>b/a (%)</td> <td>0.0</td> <td>89.8</td> <td>90.6</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	目標の達成度	事業開始年度 (平成3年度)	現況値 (令和2年度)	予算年度 (令和3年度)	事業最終年度	計画 a	249.5	249.5	249.5	249.5	実績 b	0.0	224.0	226.0	—	b/a (%)	0.0	89.8	90.6	—
				目標の達成度	事業開始年度 (平成3年度)	現況値 (令和2年度)	予算年度 (令和3年度)	事業最終年度																
				計画 a	249.5	249.5	249.5	249.5																
実績 b	0.0	224.0	226.0	—																				
b/a (%)	0.0	89.8	90.6	—																				
予算額 (うち翌年度繰越額) 80,000 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 80,000 (0)																						
予算額 (うち翌年度繰越額) 80,000 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 80,000 (0)																						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
6	<b>(単)身近な道改善事業</b> (H25～) 道路保全課 住民の生活に密着した道路の利便性・安全性を低コストかつ短期間で向上させるため、路肩の拡幅や簡易歩道整備等の小規模な改良及び通学路安全対策を実施する。	① 歩行を阻害する植樹帯の見直しや防草処理 26箇所 ② 既設道路敷を利用した路肩拡幅や簡易歩道の設置 62箇所 ③ 蓋付き側溝の新設・既設側溝への蓋掛け 14箇所	① 396,000 ③ 97,000 ② 307,000 ④	<b>完了箇所数</b> [箇所]	目標値	100	100	100	A		
			主な活動指標と達成率			実績値	97	102		—	
			着手箇所数			達成率	97.0%	102.0%		—	
			[箇所]			目標値	120	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針			
予算額 (うち翌年度繰越額) 800,000 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 800,000 (0)	目標値 実績値 達成率 70.0%	令和3年度は、植樹帯の撤去や簡易歩道の設置など102箇所対策を完了した。 当該事業に対する地域の要望は多く、引き続きニーズにきめ細かく応えられるよう取組を推進する。							
予算額 (うち翌年度繰越額) 800,000 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 800,000 (0)	目標値 実績値 達成率								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-5-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主  な  事  業  内  容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																					
7	<b>交通安全事業</b> ( ~ ) 道路保全課 道路利用者の安全を確保するため、防護柵や道路標識、道路照明などの交通安全施設の新設および維持補修を実施する。	①(公)交通安全事業 歩道、自転車歩行者道、交差点改良、電線共同溝等	「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づき、歩道・自転車歩行者道の整備、交差点の改良、道路標識の設置等、交通安全施設を整備し、通学生をはじめとする歩行者等の安全の確保と交通事故防止対策を実施した。 今後とも通学路の危険箇所等において計画的に対策を推進する。																					
		②(単)交通安全事業 道路附属物の整備、交通安全施設の維持・補修、カラー舗装等の交通弱者事故対策等																						
		③(単)側溝整備事業 排水溝未整備箇所の整備、排水溝の断面改修、流末修繕等																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>区分</th> <th>令和3年度事業実施路線</th> <th>事業実施箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(公)交通安全事業</td> <td>交通安全</td> <td>国道213号 ほか28路線</td> <td>全37箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(単)交通安全事業</td> <td>交通安全2種</td> <td>国道217号 ほか県内一円</td> <td>県内一円</td> </tr> <tr> <td>交通安全施設維持</td> <td>国道197号 ほか県内一円</td> <td>県内一円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(単)側溝整備事業</td> <td rowspan="2">側溝整備</td> <td>弱事故対策</td> <td>国道387号 ほか県内一円</td> </tr> <tr> <td>側溝整備</td> <td>国道212号 ほか県内一円</td> </tr> </tbody> </table>	事業名		区分	令和3年度事業実施路線	事業実施箇所数	(公)交通安全事業	交通安全	国道213号 ほか28路線	全37箇所	(単)交通安全事業	交通安全2種	国道217号 ほか県内一円	県内一円	交通安全施設維持	国道197号 ほか県内一円	県内一円	(単)側溝整備事業	側溝整備	弱事故対策	国道387号 ほか県内一円	側溝整備	国道212号 ほか県内一円	
	事業名	区分		令和3年度事業実施路線	事業実施箇所数																			
(公)交通安全事業	交通安全	国道213号 ほか28路線	全37箇所																					
(単)交通安全事業	交通安全2種	国道217号 ほか県内一円	県内一円																					
	交通安全施設維持	国道197号 ほか県内一円	県内一円																					
(単)側溝整備事業	側溝整備	弱事故対策	国道387号 ほか県内一円																					
		側溝整備	国道212号 ほか県内一円																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち繰越事業費 うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,139,677 (1,707,306)</td> <td>3,432,371 (1,950,938) (1,588,253)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費 うち国庫支出金)	5,139,677 (1,707,306)	3,432,371 (1,950,938) (1,588,253)																				
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費 うち国庫支出金)																							
5,139,677 (1,707,306)	3,432,371 (1,950,938) (1,588,253)																							

No.	事業名・事業概要・事業費	主  な  事  業  内  容	主  な  事  業  内  容  ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
8	<b>交通安全施設整備費</b> ( S46 ~ ) 交通規制課 道路交通の円滑化を図り、安全を確保するため、信号機や道路標識など交通安全施設の整備を行う。	①信号機の新設・改良（新設2基、改良117基）	① 497,751 ③ 97,953	<b>交通事故死傷者数</b> 目標値 4,538 実績値 3,063 達成率 132.5%	4,538	<b>4,438</b>	3,800	A	
		②道路標識の整備 (横断歩道10.19km、実線55.80km、エスコートゾーン195.75m)	② 142,747 ④ 48,831		3,063	<b>2,868</b>	—		
		③交通管制の整備・情報収集用車両感知器等の整備 (車両感知器更新36式、光ビーコン更新13基)	主  な  活 動 指 標 と 達 成 率 [人] 達成率 132.5%		<b>135.4%</b>	—			
	④道路標識の整備（302本）	信号機の新設数 目標値 2 実績値 2 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 全国で統一された信号機設置基準を厳格に適用し、交通環境に応じた信号機の設置や撤去を推進するとともに、地域住民の要望に応じた信号機の運用変更などの改良や渋滞状況を把握するための車両感知器等の更新、道路標識等交通安全施設の整備を推進し、道路交通の円滑化及び交通事故防止を図った。 引き続き、安全で安心な交通社会の実現のため、交通環境の変化に対応した交通安全施設の整備を推進する。	道路標識の整備数 目標値 300 実績値 302 達成率 100.7%					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>849,527 (5,192)</td> <td>837,007 (293,438)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	849,527 (5,192)	837,007 (293,438)				
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)								
849,527 (5,192)	837,007 (293,438)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主  な  事  業  内  容	主  な  事  業  内  容  ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
9	<b>思いやりの横断歩道整備事業</b> ( R3 ~ R5 ) 交通規制課 歩行者に安全かつ快適な交通環境を提供するため、摩耗の進んだ横断歩道の更新や人感ライトのLED化など、令和5年度まで集中的な更新・整備を実施する。	①摩耗した横断歩道の更新 (信号機のない場所を中心に1,200本)	① 57,089 ③	<b>交通事故死傷者数(※)</b> 目標値 実績値 達成率		<b>4,438</b>	—	A	
		②歩行者を照らす人感ライトのLED化（47箇所）	② 24,304 ④		3,063	<b>2,868</b>	—		
		主  な  活 動 指 標 と 達 成 率 [人] 達成率				<b>135.4%</b>	—		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85,709 (0)</td> <td>81,393 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	85,709 (0)	81,393 (0)				
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)							
85,709 (0)	81,393 (0)								
横断歩道更新数 目標値 1,200 実績値 1,540 達成率 128.3%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県内13,598本の横断歩道のうち、信号機がなく、また近年更新されていない3,600本を令和5年度まで集中的に整備・更新する。令和3年度は施工箇所をブロック別に区分して効率的に実施したことにより、目標を超える更新ができた。また、人感ライト291箇所のうち141箇所についても集中的にLED化を進める。 引き続き、住民要望を踏まえ交通環境の変化に対応しながら、計画的な整備・更新を推進していく。 (※)令和4年度の成果指標及び目標値 横断歩道上の歩行者事故件数 128 [件]	人感ライト更新数 目標値 47 実績値 47 達成率 100.0%							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-5-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針
10	<b>交通事故遺児救済援護活動助成事業</b> ( S48 ~ ) 生活環境企画課 交通事故で親を失った子ども（交通遺児）を支援するため、大分県交通事故遺児等援護基金を財源とし、大分県交通安全推進協議会が実施する交通事故遺児救済援護事業に対して補助する。	①大分県交通安全推進協議会補助 大分県交通安全推進協議会が実施する交通事故遺児救済援護事業に対する補助  ②大分県交通事故遺児等援護基金積立金 大分県交通事故遺児等援護基金への積み立て	大分県交通安全推進協議会が交通遺児へ給付する小中学校入学祝金、修学旅行助成金や中学校卒業祝金等の救済援護事業に対して補助し、令和3年度は42人に支給した。 引き続き、交通遺児が健やかにたくましく成長できるようこの取組を継続する。
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	大分県交通安全推進協議会補助金の内容 ・新規交通遺児激励金：2万円 ・入学祝金（小・中学生）：5万円 ・修学旅行助成金：小学生2万円 中学生3万円 ・中学卒業祝金：10万円 ・育英支援金の贈呈（中学校卒業後の3年間・年度当初に）：3万円 等
	11,224 (0)	11,223 (0)	